

施策評価シート(令和3年度実施施策)

総合計画 体系	政策№	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策№	3-5	施策名	支えあい尊重される社会の実現	施策主管 課長名	平山 正孝
関係課	政策財政課 町民税務課 健康ふくし課					

1. 施策の目的

対 象	A 地域・事業所	意 図	A あらゆる人権が尊重され多様な人々が共生している
	B 事業所		B 男女共同参画推進まちづくり行動計画を理解し、男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる

2. 成果指標

指標名			単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 必要な時に隣近所や地域で支えあって生活している町民の割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	73.6		74.1	74.6	75.1	75.6	76.1
					69.2				
②	B 男女共同参画推進まちづくり行動計画を知っている事業所の割合（増加）（現状値：H30時点）	%	36.7		40	40.7	41.3	41.8	42.2
					46.7				
③									
④									

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	年齢が高くなるほど隣近所で支えあって生活していると感じている人が多く、支え合いの内容では、「話し相手、お茶のみ」、「食品のお裾分け、物品の貸し借り」、「除雪の手伝い」、「安否確認の声かけ」が大半を占めており、高齢者に対する日常的な支えあいが行われていると考えられる。また、必要な時に隣近所や地域で支えあって生活している町民の割合の減少には、コロナ禍に伴う接触機会の減少が影響していると考えられる。
②	毎年、事業所アンケートを実施し、男女共同参画推進の普及啓発に取り組んでいるため、その割合は増加傾向にある。また、社会的にもSDGsの理念や男女平等の認識が高まりつつあると考えられる。
③	
④	

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・人権擁護委員による小中学生を対象とした人権教室や人権の花活動を各学校で行い、人権尊重の理念の普及を図った。また、毎月10日に人権相談窓口を開設し相談に応じた。 ・第4次男女共同参画推進まちづくり行動計画を策定した。 ・中学生を対象に男女共同参画作文コンクールを実施し、じげんプラザ内展示スペースにて作品を紹介し男女共同参画の普及啓発を図った。 ・地域福祉計画推進委員会を開催（2回のうち1回は書面開催）し、第3期地域福祉計画の進捗管理及び実績の確認をした。
--

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

第4次男女共同参画推進まちづくり行動計画に基づいた取り組みを行い、基本目標ごとに設定したKPI及び具体的な取り組みについて進捗管理を行う。また、未来を担う子どもたちやその家庭においても広く男女共同参画について考える機会とするため、中学生を対象として実施していた作文コンクールを、より取り組みやすい川柳コンクールとし、小学校4年生から中学生まで対象を拡大して実施する。 引き続き、第3期地域福祉計画の推進に向けて進捗管理を行い、取組内容の改善につなげるとともに、第4期地域福祉計画の策定に向けて、地域における福祉サービスの適切な利用、地域福祉活動への住民の参加などに関する、住民アンケート調査を実施する。 人権普及啓発事業については、街頭啓発活動や人権教室等を実施し人権尊重の啓発活動に取り組む。
--

6．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和3年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4164	ふれあいセンター維持管理事業	9,880	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4888	男女共同参画推進事業	511	拡充	現状維持	②生産性改善	○
3	5738	地域福祉団体支援事業	26,331	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
4	5851	地域福祉計画管理事業	24	拡充	拡大	①有効性改善	
5	5884	総合福祉支援事業	187,777	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
6	17342	人権普及啓発事業	78	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○